

# 韓国人登山者 中央アルプスで遭難

## 登山者3人、心肺停止

中央アルプス 韓国人なお1人不明

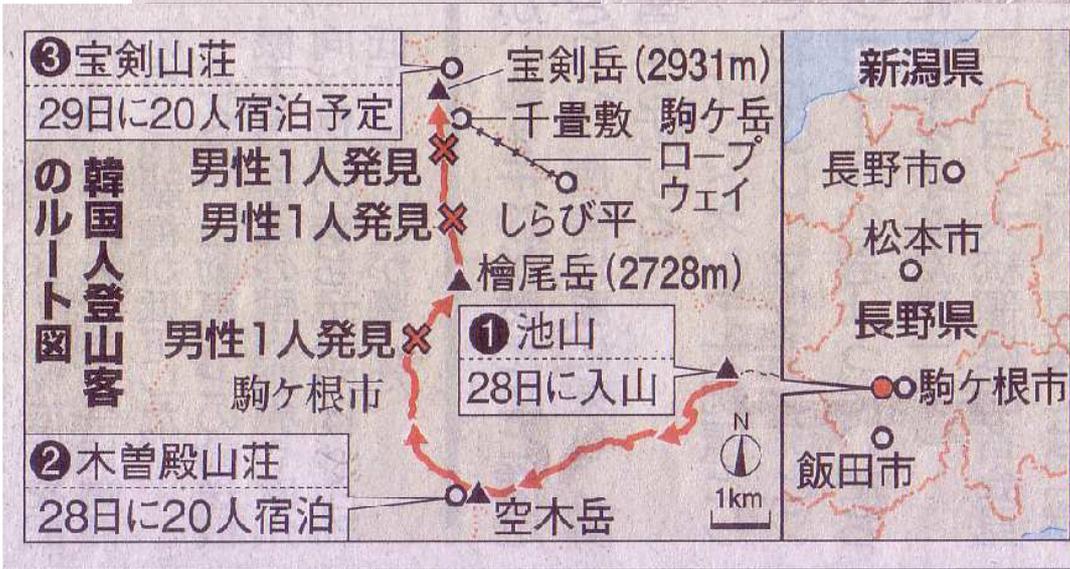
長野県の中央アルプスの槍尾岳(2728m)付近で計20人の韓国人登山グループが遭難した事故で、県警は30日早朝から捜索を続け、心肺停止状態の男性3人を相次いで発見した。このほか計16人は無事が分かっており、残る1人の行方を捜している。

▼11面▶予想外の天候急変  
グループは48〜78歳の男性14人、女性6人。県警によると、男性3人は登山道上の異なる場所にそれぞれ倒れていた。駒ヶ根署に駆けつけた在新潟韓国総領事によると、3人は78歳、73歳、70歳という。

・無事だった16人のうち、8人は30日朝、4人は昼に下山し、29日夜に下山した2人とともに同署が遭難の状況について聴いている。また、別の1人は自力で木曾殿山荘に戻ってきたという。残る1人は別行動で下山中との情報が同署に入っている。

一行は、韓国から同じツアーで来て28日に駒ヶ根市側から入山し、空木岳の木曾殿山荘に1泊。29日早朝に出発し、宝剣岳の宝剣山荘を目指していたという。何人かずつで離れて行動

し、ガイドは同行していなかった。宝剣山荘の従業員によると、29日昼は雨で、風が強く、視界が悪かった。夜には雨はやんだが、気温は10度以下だったという。



## 訪日客アルプス人気

韓国では、日本での登山が人気という。近年の健康ブームの一環だが、特にアルプスが人気だ。長野県によると、北アルプスの穂高岳から槍穂を抜けて八方で下山するコースが多い。観光庁によると、円安の今年は6月末現在で、韓国から132万人が訪日。過去最多の2007年(260万人)に迫る勢いで、登山客も多いとみられる。

北アルプスで槍ヶ岳山荘を営む穂高康治さん(64)は「山荘に泊ま

## ガイド不在の例も

る外国人客の大半は韓国人」と話す。4年前に韓国語が話せるスタッフを雇い、トイレの使い方などは韓国語でも表示している。ただ、添乗員もガイドも、リーダーもないパーティーが少なくない。「いざという時に指揮系統がはつきりしていないと被害が深刻になる。リーダー不在は極めて危険だ」

韓国人向けに注意を呼びかける山小屋もある。

上高地で山荘の管理人をする内

韓国では、日本の登山が人気！

日本の国土の68%は森林、先進工業国ではNO1  
(米国33%、独30%、仏24%、中国15%、英8%)

の自然に恵まれた国。  
3000mを越える山は富士山を筆頭に21ある。

日本の標高100位の山は2667メートル

2000m未満の山しかない韓国と  
標高が高い信州の山とは、  
大きな違いがある！

野慎一さん(41)、かおりさん(43)夫妻は04年、韓国語のホームページをつくった。早朝に出発して早めに山小屋に到着することや午後には雷が鳴ることが多いことなどは、日本の登山の「常識」を解説している。かおりさんは「2千メートル未満の山しかない韓国と標高が高い信州の山とは、大きな違いがある」と話す。

日本山岳ガイド協会の磯野太理事長は「韓国からの登山ツアーは日程が強行軍。現地ガイドを雇わずに登るケースも多い。余裕をもった日程で、山をよく知る現地ガイドとのぼることが大切だ」と指摘する。